

患者さんへの説明文書（ホームページ記載）

2011年4月1日～2015年3月31日に2011年4月1日～2015年3月31日の間に川崎医科大学附属川崎病院に入院し化学療法で発熱性好中球減少症を起こした患者さんへ

課題名：がん化学療法による発熱性好中球減少時に生じる合併症の重症化予測モデル

背景：化学療法による発熱性好中球減少症の重症化を予測する MASCC スコアは汎用されていますが、本来は発熱性好中球減少症高リスクの化学療法において使用されるものとなっています。最近、CISNE スコアにより発熱性好中球減少症低リスクの化学療法における有用性が海外から報告されました。

目的：発熱性好中球減少症の重症化を予測するに適したモデルを構築します。

対象：2011年4月1日から2015年3月31日に川崎医科大学附属川崎病院に入院し化学療法で発熱性好中球減少症を起こした患者さん

方法：MASCC スコアと CISNE スコア因子を電子カルテから抽出し、重症化リスクを検討します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究の研究資金は教員研究費のみを使用します。この研究課題を実施する関係者には、中外製薬、アストラゼネカ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、協和発酵キリン、大鵬製薬より奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会に申告を行い適正に管理されています。尚、上記企業は本研究には直接は関係ない企業です。学会発表や論文公表に際しても、利益相反に関して公表し、透明化を図ることとしています。

\*本研究はがん化学療法の臨床においては非常に重要な研究となります。対象者については特定されることはありませんのでご心配なさらないでください。また、患者さんに身体的、経済的負担をかけることはありません。研究への参加を希望しない方や不明な点などある方は、お問い合わせください。

【問合わせ先】

総合内科学 4 教授 瀧川 奈義夫

電話：086-225-2111（内線 3879）

メールアドレス：ntakigaw@med.kawasaki-m.ac.jp